

## 市町の主な意見について

### (将来像 I) 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」

- ・ 宿泊を伴う滞在型の観光が大事。地域に多数ある文化財などの地域資源を活かして観光誘客に取り組みたい。5年後・10年後に地域外から観光客に来てもらえるように「観光地をつくる」という思いを持って手がけていきたい。
- ・ のと里山里海号で穴水まで来た方を、その先の輪島や珠洲へどう呼ぶかの二次交通が課題。キリコ祭りの日本遺産認定もあり、奥能登2市2町でもっと連携していきたい。
- ・ 県境を越えた観光連携を以前から実施しているが、活動量がまだ少ないのでこれから増やしていきたい。
- ・ 石川は日本の中心に位置しており、国内の物流拠点としても便利。新幹線開業によって、国際化に向けても明るい環境ができつつあるのではないかな。
- ・ 石川県の企業は県内大学にもっとPRすべき。中小企業は自分のところに来てくれないと思っている会社も多い。
- ・ 老若男女が入ってきてまち全体を元気にさせていくような仕組みをつくれないうか、試行錯誤しているが難しい。
- ・ 人口増加と雇用確保は、近隣市町とも合わせてトータルで考えていきたい。
- ・ 公共交通が脆弱で、観光客の二次交通と併せて、高齢者・通学者などの生活の足の確保が課題。
- ・ 地域に学校が存続することが大変重要だと感じている。大人になって帰って来なくなるような、地域性を活かした教育をしたい。
- ・ 他地域からの転入者と元からの住民との融和を図るような、コミュニティ活動への支援も大切。

## （将来像Ⅱ）成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」

- ・企業誘致は効果が大きく、誘致に県の力を借りたい。企業誘致にはまずは人材が必要。学生を含め、愛知や東京から人を呼びたい。
- ・移住を伴う企業誘致では、地域にどのような高校があるかなど、子どもの教育面の環境を考えることも必要。人材供給の面でも有効なのではないか。
- ・新幹線開業の効果で求人は増えているが応募がない。高校を卒業して地域を離れた若い人たちに求人情報を発信したい。
- ・今後、耕作放棄地・空き農地がたくさん出てくるが、6次産業化や自然栽培をはじめ農業に力を入れていく必要がある。
- ・漁業について、地産地消や加工施設の整備など、豊富な漁獲量をどう活かすかが課題。

## （将来像Ⅲ）安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」

- ・未婚率が非常に高くなっているなので、それを下げる工夫を何かできないか。出会い・結婚支援は民間に任せていたが、これからはそれらを含めて支援していきたい。
- ・人口減少対策の一番は子育て支援。出生率の向上には不妊治療対策が有効。拡充を検討している。
- ・少子化は一つの要因によるものではなく、地域で支え合うことが必要。
- ・高齢化の進展に伴い医療費・介護費の増加が予想される。いかに健康寿命を延伸するかが大切。介護人口を減らすことは難しいが、増加を抑制したい。
- ・人間関係が希薄になりコミュニティが弱体化している。交流によって経済・文化の発展につなげるとともに、地域コミュニティによって人のつながりを濃くすることが大事。
- ・地域に学校が存続することが大変重要だと感じている。大人になって帰って来たくなくなるような、地域性を活かした教育をしたい。（再掲）
- ・文系・理系といった視点に限らず、例えば製造業では事務職でも機械の構造等を理解している必要があるなど、キャリア教育が重要。
- ・学校だけでなく、家庭や地域での教育が大事。